

# 九州ネット

九州体育・保健体育ネットワーク研究会

## 宮崎県開催<チキン南蛮ラウンド> H27.9.5(Sat) in 宮崎市中心公民館

九州ネットワーク研究会「チキン南蛮ラウンド」が宮崎県で開催されました。県外11名（学生5名）、県内33名、計44名と非常に多くの方々に参加いただき、注目されている「アクティブラーニング」について研修を深めることができました。

### 発表1 「攻守一体のネット型ゲームにおけるアクティブラーニング」

宮崎市立清武小学校 村中田 博 指導教諭

段ボールラケットを用いた「ネット型：テニスを基にした易しいゲーム」の実践をアクティブラーニングに触れて紹介していただきました。課題解決のための場の工夫や思考力・判断力が高まる教材について説明がありました。「体育科教育」9月号でも寄稿されています。



### 発表2 「ボールゲームにおけるアクティブラーニング」

～ジグソー法（言語活動）を用いて～

えびの市立真幸小学校 津奈木考嗣 教諭

理科専科である先生が、5年間、東京大学の三谷先生とともに研究をしてこられたアクティブラーニングの1つの手法としての協調学習について、ジグソー法を中心に体育学習における事例を紹介していただきました。理科の実践も踏まえ、全ての教科で実践できる手法として、新たな提言をしていただきました。また、11月27日（金）に体力向上推進モデル校の研究公開を予定しています。

### 発表3 「体育理論におけるアクティブラーニング」

（現代社会におけるスポーツの文化的意義）

宮崎大学教育文化学部附属中学校 外園 武志 教諭

宮崎大学教育文化学部附属中学校の研究の柱となっているアクティブラーニングを、「体育理論」で実践されたことについて紹介していただきました。今まで活用してきたKJ法やブレインストーミングに加え、パネルディスカッションを活用して学習の深化を図る授業実践について説明がありました。



### 意見交換 指導方法の工夫（言語活動、アクティブラーニング等）

アクティブラーニングについて「現在の取組状況」「実施する上での課題」「今後の在り方」について小・中・高・特支・大学の先生、行政関係者、大学生それぞれの立場からの意見交換を行い、非常に内容の濃い協議をすることができました。

### 情報提供 体育学習におけるアクティブラーニング

鹿屋体育大学 佐藤 豊 教授

佐藤先生から「アクティブラーニング」について、様々な視点から説明していただきました。アクティブラーニングの必要性とともに、指導者側がしっかり理解した上で活用しなければならないことを再認識させられる内容でした。



御参加いただきました先生方、ありがとうございました。